

発信年月日：令和7年7月7日

所属部課		連絡先	TEL 0837-23-1117
企画政策課			FAX 0837-22-5358
件 名	数十年に一度しか咲かない花「リュウゼツラン」が 国道１９１号線沿いに２カ所で同時に開花間近		

数十年に一度しか花を咲かせない珍しい植物である「リュウゼツラン」が国道191号線沿いの日置地区と伊上地区の2カ所で同時に開花間近となっています。

【日置地区】

- 場所 山口県立大津緑洋高等学校日置校舎校門横
(長門市日置上 10401 番地 2)
- 概要 植えた時期：昭和 41 年から昭和 45 年にかけて
新校舎建設の際に移植（詳細不明）
花茎の伸び始めた時期：令和 7 年 5 月下旬
- 問い合わせ 山口県立大津緑洋高等学校日置校舎
副校長 吉原 博敏 TEL：0837-37-2511



【伊上地区】

- 場所 私有地のため市へお問い合わせください
- 概要 植えた時期：平成 6 年以前（詳細不明）
花茎の伸び始めた時期：令和 7 年 5 月初旬
- 取材 撮影は可能ですが、所有者への取材は
ご遠慮ください。
※撮影は建物が映らないよう配慮願います



「リュウゼツラン」は、アメリカ南西部からメキシコに自生する植物で、日本には観賞用などとして持ち込まれた植物です。

寿命は一般的に数十年に一度、生涯で一度だけ花を咲かせ、その後枯れてしまうのが特徴です。

開花までの期間は種類や環境によって異なり、30 年から 50 年程度、またはそれ以上かかることもあります。開花すると、高さ 5～6 メートルにもなる花茎を伸ばし、黄色い花を咲かせます。